

経済学研究科では、学生が社会で広く活用できる汎用的なスキル（トランスファラブルスキル）等を身に付けて修了できるようカリキュラムが編成されており、組織的かつ体系的な教育・研究指導を通じて修得すべきスキル・資質・能力と、それに対応するプログラムを整理した上でそれらを可視化した証明書の発行を行っています。

●●年△△月□□日

トランスファラブルスキル等に関する証明書

大学院・専攻・学年：

氏名：

指導教員（所属，職位，氏名）：

↓博士前期・後期共通(身につければ○)

大項目	中項目	小項目	概要	承認	エビデンス（養成等授業科目，活動他）	実施時期	備考
A 知識と知的能力	A1 知識基盤	A1-1 専門知識	課題解決に必要な基礎知識や方法論を身につけている。		・アドミッション・ポリシー，「経営学」「会計学」「経済学」「取引法」「リサーチ・メソッド」「テーマ・サーベイ」「プロジェクト・スタディ」「データ・アナリシス」「演習」「テーマサーベイ」「リサーチ演習」「特別演習」「学位論文」	通年	学位論文審査要件，必修科目
		A1-2 情報収集力	必要な情報を収集することができる。		・テーマ報告会，中間報告会，最終報告会・テーマサーベイ報告会，特別演習中間報告会，博士論文中間報告会 ・「リサーチメソッド」「テーマ・サーベイ」「プロジェクト・スタディ」「データ・アナリシス」「演習」「テーマサーベイ」「リサーチ演習」「特別演習」「学位論文」	3回，通年/年	学位論文審査要件，必修科目
		A1-3 語学力	研究および関連活動に必要な語学力を備えている。		・アドミッション・ポリシー	入試	入学試験の一部
	A2 認知的能力	A2-1 分析力・批判的思考	情報等を客観的に分析することができる。		・「統計学」「リサーチ・メソッド」「テーマ・サーベイ」「プロジェクト・スタディ」「データ・アナリシス」「演習」「テーマサーベイ」「リサーチ演習」「特別演習」「学位論文」 <u>意思決定基礎科目群（博士後期課程）</u>	通年	学位論文審査要件，必修科目
		A2-2 問題解決能力	専門基礎力，論理的思考力，分析・統合力等を駆使して課題解決に取り組むことができる。		・「経営学」「会計学」「経済学」「取引法」「リサーチ・メソッド」「テーマ・サーベイ」「プロジェクト・スタディ」「データ・アナリシス」「演習」「テーマサーベイ」「リサーチ演習」「特別演習」「学位論文」 <u>特化講義科目群（博士前期課程）</u> <u>意思決定応用科目群（博士後期課程）</u>	通年	学位論文審査要件，必修科目
	A3 創造性	A3-1 探求心，課題発見能力など	課題提起し，新しいアイデアや独自性のある研究を進めることができる。		・テーマ報告会，中間報告会，最終報告会・テーマサーベイ報告会，特別演習中間報告会，博士論文中間報告会 ・「リサーチ・メソッド」「テーマ・サーベイ」「プロジェクト・スタディ」「データ・アナリシス」「演習」「テーマサーベイ」「リサーチ演習」「特別演習」「学位論文」	3回，通年/年	学位論文審査要件，必修科目
B 個人能力の向上	B1 個人の資質	B1-1 取組姿勢	熱意や持続力，責任感，主体性，専門家としての誠実さを持って行動できる。また，強みや弱みを自覚して，研究に活かすことができる。		・「リサーチ・メソッド」「テーマ・サーベイ」「プロジェクト・スタディ」「データ・アナリシス」「演習」「テーマサーベイ」「リサーチ演習」「特別演習」「学位論文」	通年	学位論文審査要件，必修科目
	B2 自己管理	B2-1 計画性（時間管理等）	目的を達成するための研究計画を立て，効果的な時間管理を行うことができる。		・テーマ報告会，中間報告会，最終報告会・テーマサーベイ報告会，特別演習中間報告会，博士論文中間報告会 ・「リサーチ・メソッド」「テーマ・サーベイ」「プロジェクト・スタディ」「データ・アナリシス」「演習」「テーマサーベイ」「リサーチ演習」「特別演習」「学位論文」	3回，通年/年	学位論文審査要件，必修科目
	B3 能力・キャリア開発	B3-1 実践的能力	インターンシップ等によりキャリアアップを図っている。		・アントレプレナーシップ事業 ・やってみゅーデスク		社会人院生においては，実務・転職・独実開業等を通じて
		B3-2 国際的素養	国際的に活躍できる素養を身につけている。 海外留学経験など		・「演習」（研究コースのみ） ・DDプログラム	通年 通年	必修科目 選択プログラム

大項目	中項目	小項目	概要	承認	エビデンス（養成等授業科目、活動他）	実施時期	備考
C 研究の 管理 運営	C1 専門家としての 行動	C1-1 研究倫理	研究倫理の重要性を理解している。		・長崎大学が定める研究倫理教育 一般財団法人公正研究推進協会（APRIN）のeラーニング受講 ・研究科が定める研究倫理教育 経済学研究科倫理審査委員会に基づく倫理審査の実施 ・「リサーチ・メソッド」「テーマ・サーベイ」「プロジェクト・スタディ」「データ・アナリシス」「演習」「テーマサーベイ」「リサーチ演習」「特別演習」「学位論文」	入学時、通年	必修科目
		C1-2 知財・著作権への対応	情報管理、知的財産権、秘密保持、著作権等について理解している。		・長崎大学が定める研究倫理教育 一般財団法人公正研究推進協会（APRIN）のeラーニング受講	入学時	学位審査必修要件
	C2 研究マネジメント	C2-1 研究戦略立案能力	研究の目的と背景を理解して課題設定を行い、研究環境等を考慮して研究計画を立てることができる。		・「リサーチ・メソッド」「テーマ・サーベイ」「プロジェクト・スタディ」「データ・アナリシス」「演習」「テーマサーベイ」「リサーチ演習」「特別演習」「学位論文」	通年	必修科目
	C3 財政・研究資金等	C3-1 資金管理等の理解	研究等を進める際の資金管理・物品等調達の仕事の仕組みを理解できている。		・公的研究費不正使用防止コンプライアンス教育（長崎大学e-Learning研修システム）受講	入学時	
D 影響と イン パクト	D1 他者との協働	D1-1 チームワーク力、リーダーシップ力等	チームの戦略・目標、役割分担を理解し、協働できる。他メンバーの貢献を理解し、リードできる。		・リサーチアシスタント（RA）雇用 ・ティーチングアシスタント（TA）雇用 ・テーマ報告会、中間報告会、最終報告会・テーマサーベイ報告会、特別演習中間報告会、博士論文中間報告会	通年	予算に応じて
		D1-2 指導力	経験の浅い研究者等をサポートし、フィードバックをできる。		・テーマ報告会、中間報告会、最終報告会・テーマサーベイ報告会、特別演習中間報告会、博士論文中間報告会 ・「リサーチ・メソッド」「テーマ・サーベイ」「プロジェクト・スタディ」「データ・アナリシス」「演習」「テーマサーベイ」「リサーチ演習」「特別演習」「学位論文」	通年	必修科目
		D1-3 ダイバーシティへの理解	個々人の相違とダイバーシティについて理解し尊重している。		・長崎大学が定めるダイバーシティ教育 ダイバーシティ推進学習プログラム（ダイバーシティ推進センター e-learning）受講 ・アクセスサポーター、ピア・サポーター、留学生チューター等活動 ・「取引法」「比較公法特講」	通年	必須ではない
	D2 コミュニケーションと普及	D2-1 コミュニケーション能力	様々な人々に対し、概念、知識や情報等を効果的に伝えることができる。研究遂行にあたって研究室内外の人と十分な議論ができ、理解を得ることができる。		・テーマ報告会、中間報告会、最終報告会・テーマサーベイ報告会、特別演習中間報告会、博士論文中間報告会 ・「リサーチ・メソッド」「テーマ・サーベイ」「プロジェクト・スタディ」「データ・アナリシス」「演習」「テーマサーベイ」「リサーチ演習」「特別演習」「学位論文」	3回、通年/年	学位論文審査要件、必修科目
		D2-2 成果の公表能力	国内外に向けた情報発信のために、さまざまなコミュニケーションツールや手法を理解し、効果的に活用している。 (1) 学会等での成果発表		・テーマ報告会、中間報告会、最終報告会・テーマサーベイ報告会、特別演習中間報告会、博士論文中間報告会 ・「リサーチ・メソッド」「テーマ・サーベイ」「プロジェクト・スタディ」「データ・アナリシス」「演習」「テーマサーベイ」「リサーチ演習」「特別演習」「学位論文」	3回、通年/年	学位論文審査要件、必修科目
			(2) 論文等での成果公表		・テーマ報告会、中間報告会、最終報告会・テーマサーベイ報告会、特別演習中間報告会、博士論文中間報告会	3回、通年/年	学位論文審査要件、必修科目
	D3 社会との関わり	D3-1 社会への情報提供など	研究や関連する研究分野、およびその影響について、一般社会の意識や理解を高めている。		・「地域経済特講」	セメスター	社会人院生においては実務を通じて
		D3-2 ビジネス等への展開能力	研究の潜在的な影響力を理解し、また事業展開に繋がる取り組みができる。		・「経営学」「会計学」「原価計算特講」「管理会計特講」「経営戦略/経営戦略特講」「マーケティング/マーケティング特講」「経営情報/経営情報分析特講」「経営組織/経営組織特講」「企業論/企業論特講」「人的資源管理/人的資源管理特講」その他経営・会計系の開講科目すべて（経営・金融・会計・財務系特化講義科目） 意思決定基礎科目群・意思決定応用科目群（博士後期課程）	セメスター	社会人院生においては実務を通じて

緑字：当該専攻教育プログラムの科目、青字：教育PG以外の本学のe-learning講習やセミナーなど

その他

※ スキルの分類等に関して、英国Vitaeが開発した研究者に求められる能力指標であるVitae Researcher Development Framework (<https://www.vitae.ac.uk/>) を参考にしています。